

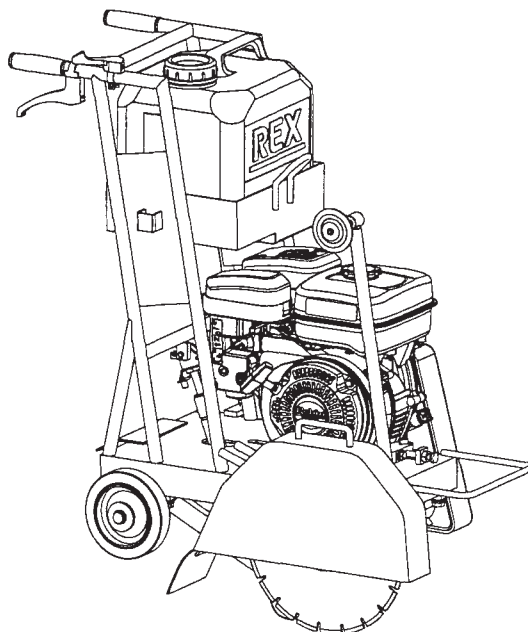
REX

ダイヤモンド工具

道路マスター305R/355R

RDM12R/RDM14R

取扱説明書



ご使用前に必ず
お読みください

—お願い—

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡してください。
- 安全に能率よくお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みになってください。
- なお、この取扱説明書は、お使いになる方が必要なときにいつでも見られるところに大切に保管してください。

購入年月: 年 月

お買上げ店名:

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全にご使用いただくために」の項目を必ず守ってください
- ・ご使用前に、この「安全にご使用いただくために」の項目すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ・この取扱説明書に記載されていること以外の取り扱いをしないでください。

目 次

安全にご使用いただくために……………	1
道路マスター305R/355R 使用上のご注意 ……	3
各部の名称・標準付属品……………	4
作業手順……………	6
日常の点検・手入れ……………	10
トラブルシューティング……………	11
修理をご依頼のときは……………	13

▲ 警告, ▲ 注意, の意味について

この取扱説明書では、注意事項を ▲ 警告 と ▲ 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

▲ 警告：誤った取り扱いをした時に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容をしめします。

▲ 注意：誤った取り扱いをした時に、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみの発生が 想定される内容をしめします。

なお、「▲ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので必ず守ってください。

・この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社の代理店・販売店にご注文ください。
・品質、性能向上あるいは安全上、予告なく使用部品や仕様の変更を行う場合があります。その際には本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

▲ 警 告

- ・ 取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取扱いで安全に作業をしてください。
 - ・ 取扱い知識の不十分な人には使わせないでください。
- ・ エンジンの取扱いは別紙エンジン取扱説明書を参照してください。
- ・ 室内、トンネル内など換気の悪い所では使用しないでください。
 - ・ エンジンの排気ガス中には一酸化炭素など有害な成分が含まれており、ガス中毒を起こす危険があります。やむをえない場合は、排気ガスの室外放出等、十分換気をしてください。
- ・ 危険な場所での使用は避けてください。
 - ・ 雨中や湿気の多い場所、機械に水の入りやすい場所などでは使用しないでください。
 - ・ 機械のまわりは火気厳禁、燃料に引火、火災の危険性があります。ガソリン、シンナーなど可燃性の液体やガスのある場所では使用しないでください。
 - ・ 排気ガス出口付近には、燃えやすいものは近づけないでください。マフラの排気口付近は高温になります。火災の原因になりますのでガソリン、マッチ、紙、わらくず等燃えやすいものを近づけないでください。
- ・ 作業場所の整理整頓を心がけ、安全な作業環境の保全に努めてください。
- ・ 作業関係者以外は作業場所へ近づけないでください。
 - ・ 作業者以外、本体に触れたり、操作させたりしないでください。
- ・ 作業をするときは防護服（ヘルメット、保護靴等）を着用し、適切な作業服で作業をしてください。
 - ・ だぶだぶの衣服や袖口の開いた服、ネクタイ、網手袋、ネックレスなどの装身具は着用しないでください。回転部に巻き込まれる危険があります。
 - ・ 屋外での作業の場合、ゴム手袋と滑り止めのついた履き物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履き物は事故の原因となります。
 - ・ 長い髪は帽子やヘアカバーで覆ってください。
- ・ 注意を怠らず作業してください。
 - ・ 常に足下の安定した体制を保ち、作業してください。
 - ・ 取扱い方法や周囲の状況などに注意して、慎重に作業してください。注意を怠ると事故や怪我を引き起こす可能性があります。
 - ・ 体調不良の時、お酒を飲んだ後、病気や薬物などの影響など、作業に支障をきたすような状態で使用しないでください。
- ・ エンジンルームに適正なオイルが注入されている状態で使用してください。
- ・ 燃料は無鉛ガソリンを使用してください。また、燃料は給油口付近まで入れないでください。ガソリンタンクから漏れる場合があります。
- ・ 燃料の補給は、明るく、火気のない風通しのよい場所で行ってください。
- ・ 燃料はエンジンを止めてから補給してください。
 - ・ エンジンを運転したまま燃料を補給すると、燃料がこぼれて、エンジンスパークやマフラなどから引火することがあります。
 - ・ 燃料の補給は、運転停止後2分以上冷却した後行ってください。
 - ・ 燃料がこぼれたら、きれいにふき取ってから始動してください。
 - ・ 燃料補充時の加えタバコなど、火気厳禁。

⚠ 警 告

- ・ 機械各部の点検を行い、ネジ類のゆるみや異常箇所がないことを確認してください。
 - ・ 使用する前に、装置の外観や部品などに損傷がないか点検をし、また正常に作動するか所定の機能を発揮するかなどを確認してください。
 - ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態など異常がないか点検してください。
- ・ 整備する場合はエンジンを停止してから行ってください。
- ・ 幼児等が触れると危険です。保管方法、保管場所には十分注意してください。
- ・ 平坦な安定した場所に保管してください。
 - ・ 傾斜地では燃料タンクキャップや気化器から燃料がこぼれ、火災の原因になります。
- ・ 運搬時は燃料を抜いてください。
 - ・ 燃料がタンクに残っていると燃料が漏れ、火災の原因となります。
- ・ 運搬時はエンジンを停止し、始動スイッチをOFFにしてください。また燃料タンクキャップがはずれないようにしっかり締め、燃料コックをOFFにしてください。
- ・ 装置が動いたり、倒れないようにしっかり固定して保管してください
- ・ 長期保管する場合は、エンジンオイルをフルレベルまで補給し、燃料タンク、燃料給油ホース、バルブ、キャブレターから燃料を抜き取っておいてください。
- ・ 修理は、お買い求めの販売店または当社の営業所に依頼してください。
 - ・ 破損した部品などの交換や修理は、本書の記載内容に従ってください。また、本書に記載されていない場合、お買い求めの販売店または当社の営業所に修理を依頼してください。

▲ 警 告

- ・ 装置の停止の仕方など、本書を読んで十分に理解した上でお使いください。
 - ・ 使用中や使用後はマフラーが熱くなりますので、絶対に触れないでください。
 - ・ 指定用途以外には使用しないでください。また、安全に効率よく作業するため装置の能力に合った作業をしてください。
 - ・ 運転前に、装置各部の点検を行いねじ類のゆるみや異常箇所がないか確認してください。また、点検、調整などに使用した工具類が取り外してあることを確認してください。取り付けたまま装置を作動させると、事故や怪我の原因となります。
 - ・ 標準刃物は「道路マスター専用」です。他の用途や指定以外の刃物等では使用しないでください。
 - ・ ダイヤモンドブレードにひび割れなどの異常がないことを確認してください。
 - ・ ブレードカバーは必ず装着してください。
 - ・ エンジン始動と同時にブレードが回転しますので、十分気を付けてください。
- 回転部分（ベルトカバー内、ブレード取付部）には、手足、衣服などを巻き込まれないように十分気を付けてください。
- ・ 危険ですので、作業中の装置の前には人を立たせないでください。

異常を感じたら、すぐに運転を中止してください。

- ・ 運転中装置に異常（異臭や振動、異常音など）が発生した場合、直ちに運転を中止してください。本書のトラブルシューティングの項目に症状を照らし、指示に従って対処してください。
- ・ 異常にもかかわらず、無理に使用されますと、発熱、発煙、発火の原因となります。

装置から離れる場合は、必ずエンジンを停止してください。

各部の名称・標準付属品・標準仕様

■各部の名称

道路マスター305R

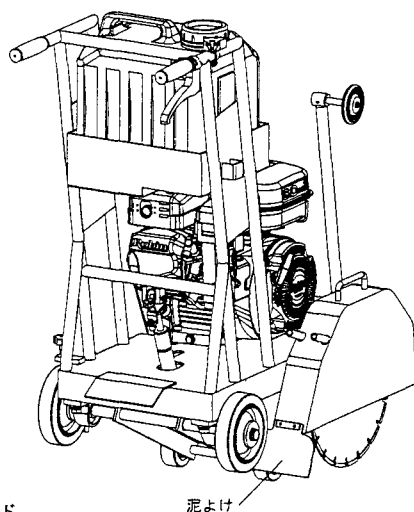
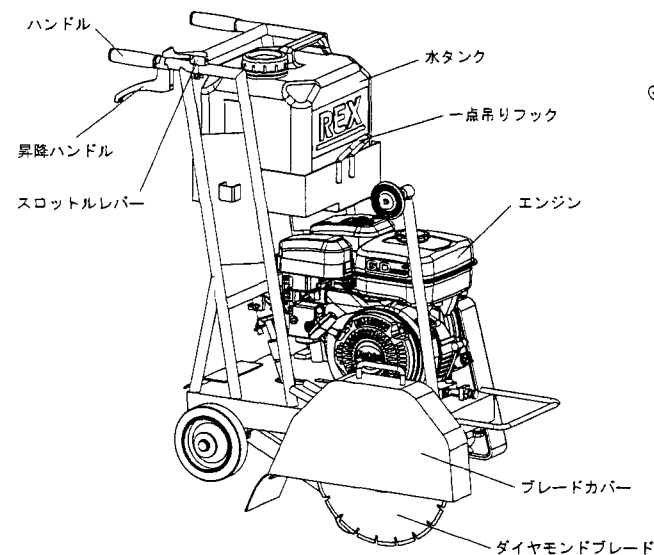


図 1：道路マスター305R 本体全景

■標準付属品

・片ロスパナ 24mm、17mm	・・・各1本
・ダイヤモンドブレード (SLW12)	・・・1枚

表 1：道路マスター305R 標準付属品

■標準仕様

形式	RDM12R
寸法 (mm)	866 (L) x 473 (W) x 858 (H)
使用ブレード寸法/穴径	12" (φ305) / φ27
最大切り込み深さ (mm)	100
切断深度調整	油圧ロック機構付きガスプリング方式
ブレード冷却方式	重力注水飛散方式
給水タンク容量 (L)	16
エンジン回転数 (r. p. m.)	3600 (最大)
乾燥重量 (kgf)	57

表 2：道路マスター305R 標準仕様

■エンジン仕様

名称	ロビン EX17
形式	空冷4サイクルガソリンエンジン
総排気量 (mL)	169
最大出力	4.2kW/4000r. p. m. (5.7PS/4000r. p. m.)
使用燃料	自動車用無鉛ガソリン
燃料タンク容量 (L)	3.6
使用潤滑油	ロビン純正オイルまたは自動車用エンジンオイルSE級以上
始動方式	リコイル式

表 3：道路マスター305R エンジン仕様

各部の名称・標準付属品・標準仕様

■各部の名称

道路マスター-355R

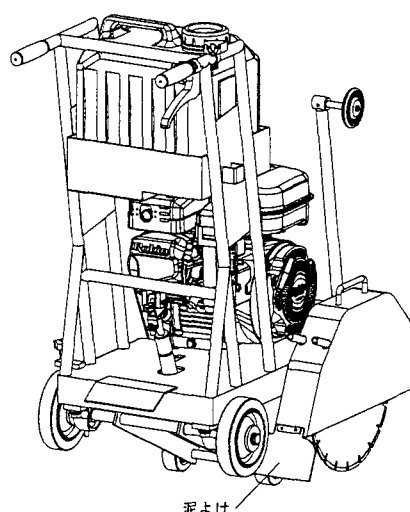
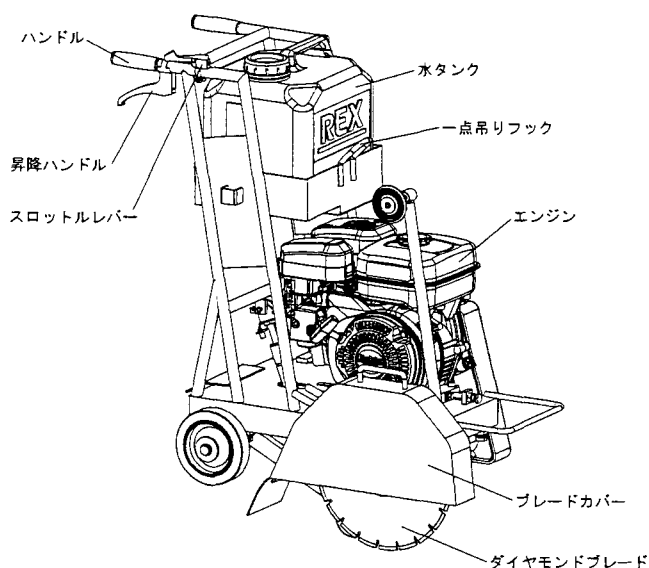


図2：道路マスター355R 本体全景

■標準付属品

- ・片ロスパナ 30mm、22mm ……各1本
- ・ダイヤモンドブレード (SLW14) ……1枚

表4：道路マスター355R 標準付属品

■標準仕様

形式	RDM14R
寸法 (mm)	1038 (L) x 520 (W) x 892 (H)
使用ブレード寸法/穴径	14" (φ355) / φ27
最大切り込み深さ (mm)	120
切断深度調整	油圧ロック機構付きガススプリング方式
ブレード冷却方式	重力注水飛散方式
給水タンク容量 (L)	16
エンジン回転数 (r. p. m.)	3600 (最大)
乾燥重量 (kgf)	72

表5：道路マスター355R 標準仕様

■エンジン仕様

名称	ロビン EX27
形式	空冷4サイクルガソリンエンジン
総排気量 (mL)	265
最大出力	6.6kW/4000r. p. m. (9.0PS/4000r. p. m.)
使用燃料	自動車用無鉛ガソリン
燃料タンク容量 (L)	6.1
使用潤滑油	ロビン純正オイルまたは自動車用エンジンオイルSE級以上
始動方式	リコイル式

表6：道路マスター355R エンジン仕様

作業手順

1. 運搬

- ・積み込み・積み降し・移動(切削時は除く)作業は必ずエンジンを停止し、ブレードを外してから行ってください。
- ・機体を吊り上げる時は、フック部にクラック等破損していない事を確認してから、一点吊りフックを利用してください。
- ・絶対にハンドル部では吊り上げないでください。

⚠ 注意

- ・万一の落下に備え、吊り上げ作業時は機体の下に人や動物が入らないようにしてください。また、必要以上の高さに吊り上げないでください。
- ・クレーンによる積み降し作業は資格が必要です。クレーンの運転、玉掛け作業の資格のある人が行ってください。

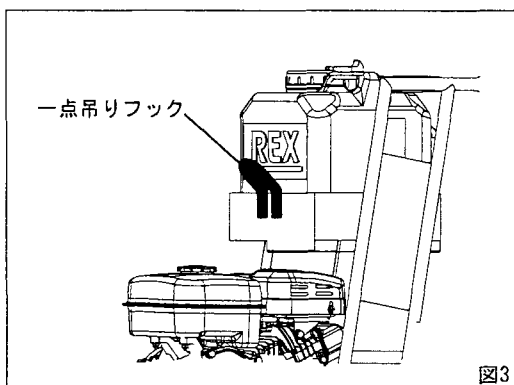


図3

- ・機体の積み降しはゆっくりおこなってください。急激な作業は機体破損の恐れがあります。
- ・運搬時は燃料タンクのキャップが外れないようしっかり締め、燃料コックを閉じ燃料がこぼれないようにしてください。長距離、悪路での運搬時は燃料を抜いてください。
- ・輸送中、動いたり倒れたりしない様、輸送車に機体をロープ等でしっかり固定してください。

2. 運転の前に

2-1 エンジンオイル

エンジンを水平にして、オイルゲージにてオイルを点検してください。不足の場合は適時、注入口より補給してください。オイルは下記のものを使用してください。

- ・SAE#30 通常気温の場合
- ・SAE#20 気温10℃以下の場合
- ・SAE10W-30 一年中気温に関係なく使用できます。(気温-20℃まで。但し、通常気温で使用的場合、オイルの消費が増す傾向がありますので、日常の点検にご注意ください。)

オイルの品質はS0級以上のものをご使用ください。エンジンオイルの質および量を低下させると焼付損傷をまねきます。

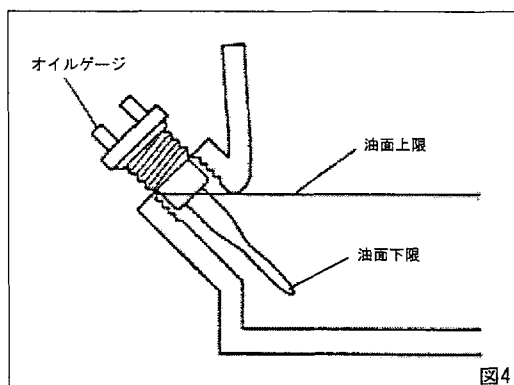


図4

⚠ 注意

熱いオイルが体にかかると火傷する恐れがありますので、十分に注意してください。

2-2 燃料の注入

燃料は自動車用無鉛ガソリンを使用してください。燃料補給は、エンジンを必ず停止して、注入口に装着してある燃料コシ網を使用してください。また、外へこぼれたらきれいにふき取ってください。

⚠ 警告

- ・燃料の注入は火気のない安全な場所で行ってください。爆発や炎上の恐れがあります。
- ・給油限界位置(給油フィルターにある赤線のマーク)以上給油しないでください。

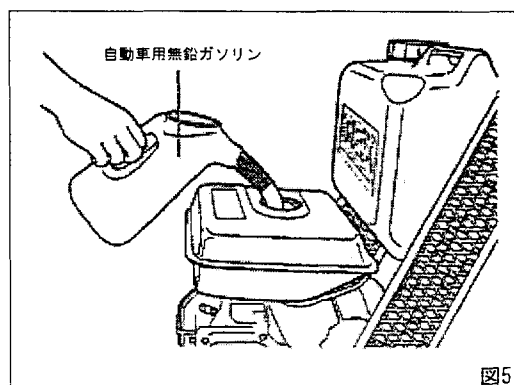


図5

3. Vベルトの張り確認

- ・Vベルトのゆるみ及び損傷を点検してください。
張り具合は両軸の中間部を強く押して10mm位たわむように張ってあれば正常です。張りが不足している場合は張り直し、交換する場合は2本共(355Rは3本共)に取り替えてください。ベルト調整方法は、エンジンを前後にスライドさせて調整します。

・Vベルトの調整方法

- ①軸間距離を縮めてください。
新しくベルトを取り付ける場合は、必ず軸間距離を縮め、ベルトを挿入後、張りを与えてください。こじ入れ等は、ベルトを損傷させるため、絶対に行わないでください。
 - ②適切な張りを与えてください。
ベルトの張りはスパン長の中心で、ベルトに垂直にバネ秤で引張り、3.3mmたわませた時のたわみ荷重により測定します。
- | | |
|-------------|------------------|
| 新しいベルトを張るとき | 25(2.5) kgf(N)/本 |
| 張り直しを行うとき | 22(2.2) kgf(N)/本 |
- ③張りがゆるんだ場合には張り直しをしてください。
ベルトがプーリになじむには数日かかります。
張りがゆるんだ場合は②の要領で張り直しをしてください。
 - ④張りの点検をしてください。
張りの点検頻度は、新しいベルトで初日に2～3回、その後数ヶ月間は日に1回、あとは一ヶ月に1回程度の割合です。

⚠ 警告

使用する際は必ずベルトカバーを取付けてから使用してください。ベルトカバーを外した状態で使用すると、怪我や事故の恐れがあります。

⚠ 注意

調整時はボルトはゆるめるだけではずさないでください。

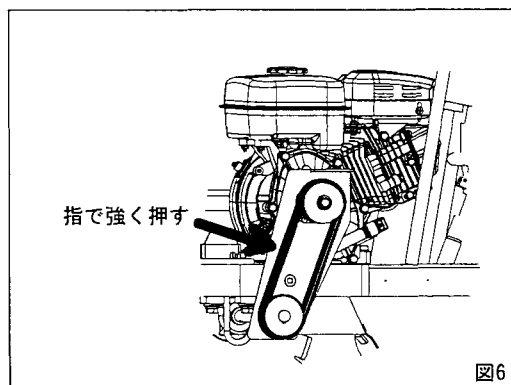


図6

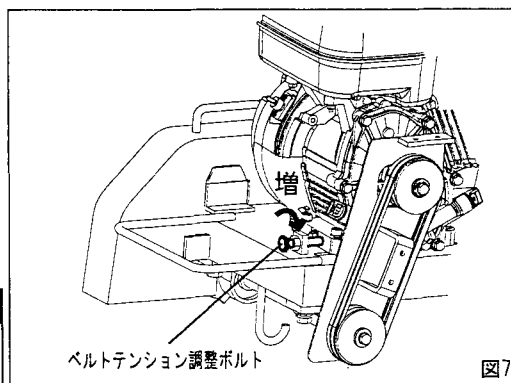


図7

4. 水タンクの着脱

- ・水タンクは着脱が可能です。プラスチックジョイントを取り外しタンクを持ち上げれば取り外せます。
散水コックは閉の位置にしておいてください。

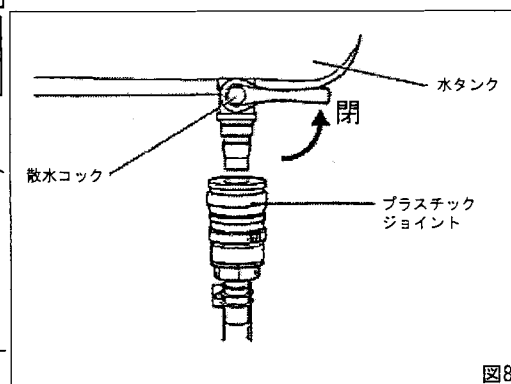


図8

5. 冷却水の注入

- ・水タンクは十分に水を入れてご使用ください。
ブレードの寿命は冷却水の分量によって大きく影響を受けますので、水が不足しないように注意してください。
- ・散水コックを開き、水を通して散水パイプが詰まっていないことを確認してください。

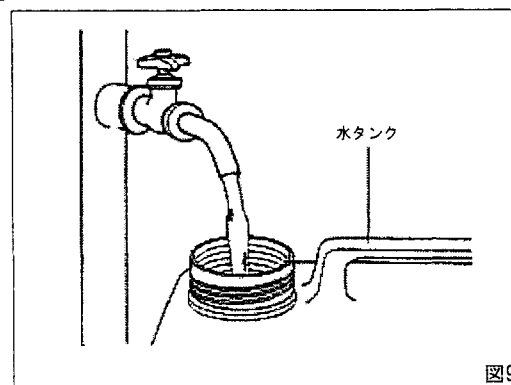


図9

作業手順

6. ブレードの取付け

- ・ブレードカバーを上方向に持ち上げて、本体から外します。
- ・ブレードシャフトにフランジ(内)、ダイヤモンドブレード、フランジ(外)の順に入れ、ナット(左ネジ)で十分締め付けしてください。

⚠ 注意

ブレードシャフトのスパナ掛け部にスパナを掛けてブレードシャフトを固定して、ナットをスパナで半時計方向の回して締め付けます。

- ・ブレード取付け後、ブレードカバーを本体フレームに取付けてください。

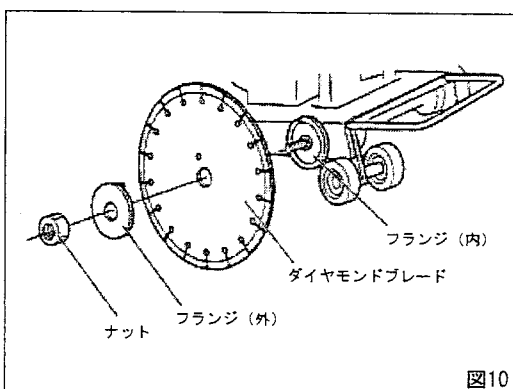


図10

7. 機体の昇降方法

- ・昇降レバーを握ると、機体を上下に動かすことができます。昇降レバーをはなすと、固定します。

⚠ 注意

昇降レバーを必要以上に強く握らないようにしてください。ワイヤーが伸び、正常に昇降できなくなる恐れがあります。

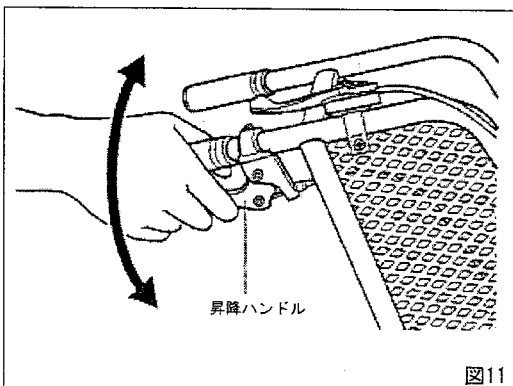


図11

8. 始動

- ・燃料コックを開きます。
- ・ストップスイッチを運転"1" (ON) 側にまわします。
- ・スロットルレバーを約1/3開いた位置 (高速側) にします。
- ・チョークレバーを閉じます。
- ※チョークの開度は
 - ・寒い時やエンジンが冷えている時は全開にします。
 - ・暖かい時や運転停止直後再始動する場合は全開もしくは半開にしてください。
- ・始動ノブをゆっくり引いてゆくと重くなる所 (圧縮点) があります。更に少し引くと一度軽くなる所があり、そこから始動ノブを一旦元に戻し、勢いよく引張ります。ロープは一杯に引ききらないでください。引いた始動ノブは、その位置から手離さずに静かに元に戻してください。
- ・エンジンが始動したら、チョークレバーを開きます。
- ※チョークレバーはエンジンの調子をみながら徐々に開き、最後には必ず全開にしてください。
- 寒い時またはエンジンの冷えている時、急にチョークレバーを開くと、エンジンが停止することがあります。
- ご注意ください。
- ・エンジン始動後は必ず3～5分間低速で暖気運転を行います。特に寒冷時では必ず実行してください。この間にガス洩れ異常音がないか注意してください。

⚠ 警告

エンジン始動と同時にブレードが回転しますので、接触しない様、十分に注意してください。

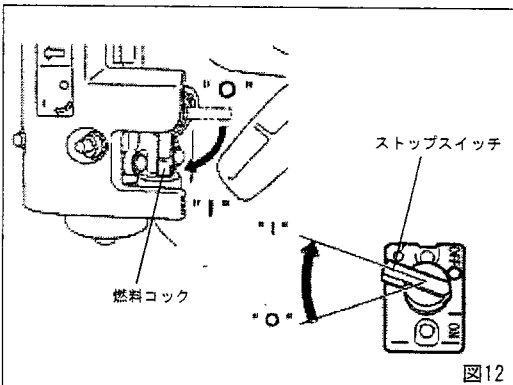


図12

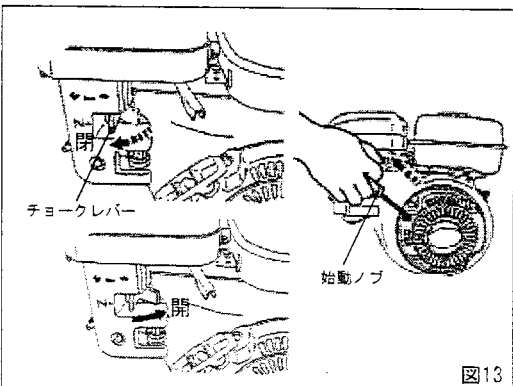


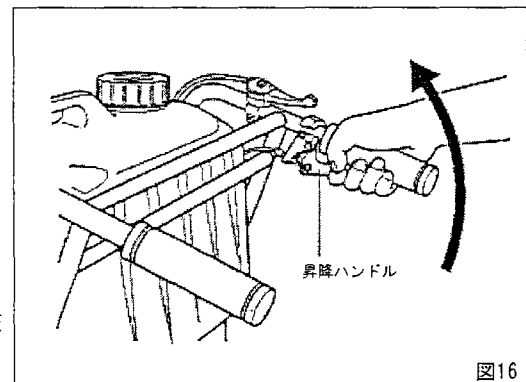
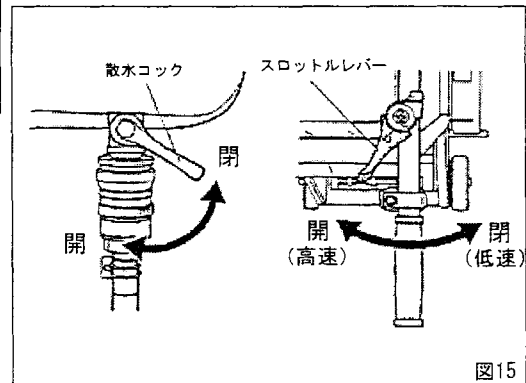
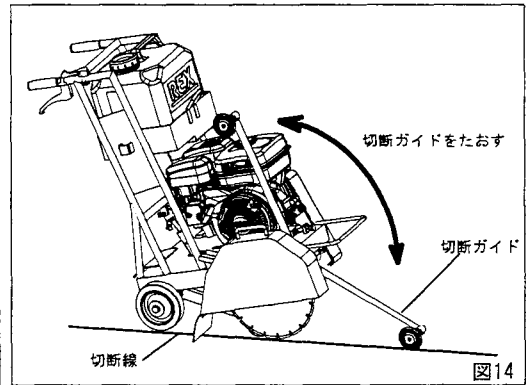
図13

9. 作業

- ・ブレードを切断線に合わせます。または切断ガイドを地面にたおし、真上から見て切断ガイドが切断線上の位置に合わせてください。
- ・水タンクの散水コックを開き、ブレードに冷却水を噴射させてください。
- ・スロットルレバーを徐々に高速側にセットします。
- ・昇降ハンドルを握ると、ブレードが降下しはじめます。所定の深さになったところで昇降ハンドルを離すと、切り込み深さが固定されます。

⚠ 注意

- ・急激な切り込み、切削はブレードの破損やエンジン、Vベルトなどの耐久性を損なう恐れがあります。エンジン音を聞きながらゆっくりと機体を押し切削してください。
- ・スロットルレバーを必要以上に強く回さないでください。ワイヤーが伸び、正常に運転できなくなる恐れがあります。



10. 停止

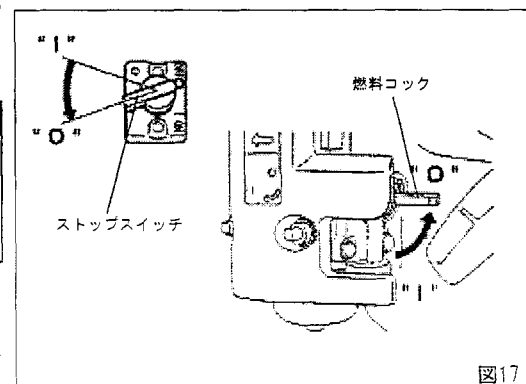
- ・切削が終了したら、昇降ハンドルを握って機体を持ち上げてください。
- ・散水コックを閉じて冷却水を止めてください。
- ・スロットルレバーを低速にし、2～3分位エンジンを回してエンジンの温度が下がってから、ストップスイッチを停止"0" (OFF) 側にまわしてください。
- ・燃料コックを閉じます。

⚠ 注意

- ・切削直後は機械各部が高温になっていますので、火傷などに注意してください。
- ・マフラーは高温になっていますので、接触しないよう十分注意してください。

※燃料コックで停止させる方法

長時間使用しない時は、燃料コックを閉にして気化器内の燃料を使い切り、エンジンが自然に停止するのを待ちます。この方法は気化器内に残った燃料が変質し気化器内のつまり等を防止します。



日常の点検と手入れ

1.1. 手入れと保存

- ・各所のモルタル及び水による汚れは、きれいに掃除してください。特にブレードシャフトのブレード取付け部には掃除後に油を付けておいてください。

また、締め付け部分のゆるみは増し締めしてください。

⚠ 警告

本体の点検を行うときは、必ずエンジンを停止してから行ってください。

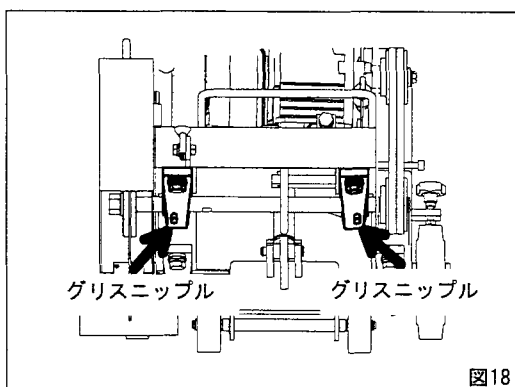
- ・ピローユニットのグリスニップルよりグリスアップしてください。特にブレードシャフトのピローユニットには、使用後グリスガンで2～3回グリスアップしてください。
- ・作業終了後、水タンク、配管内の水は抜いてください。
- ・燃料ホースは2年ごとに新しい物と交換してください。

※長期間保存の場合

- ・燃料タンク、燃料パイプ、気化器の燃料を抜き取る。
- ・点火栓をはずしてエンジンオイルを数滴シリンダ内に流し込み、数回手回しして内部に充分ゆきわたらせる。
- ・リコイルスタータを引き圧縮のあるところで止めておく。
- ・直射日光の当たらない湿気やほこりのないところにカバーをかけて格納してください。

※エンジン関係

エンジンの日常点検、定期点検および簡単な調整・整備については、別紙エンジン取扱説明書を参照してください。



⚠ 警告

- ・該当する項目や指示がない場合は、ご自分で分解したり修理したりしないでください。
- ・該当する項目や指示がない場合、あるいは「修理・サービスを依頼してください」の指示がある場合には、必ずお買い求めの販売店、または弊社営業所にお申し付けください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やケガの原因になります。製品に異常が生じたときは、次の点をお調べの上お買い上げの販売店、または当社にご連絡ください。

症 状	原 因	対 策
・エンジンがかからない。 エンジンが止まる。	1. 燃料が入っていない。 2. 点火プラグの異常	1. 燃料を補給してください。 2. ストップスイッチは運転"Ⅰ" (ON) 側になっていますか。 ・点火プラグを外し汚れている場合は清掃、または交換してみてください。 点火プラグから火花がでますか。 ・点火プラグを取り外し、プラグキャップに取り付けて、シリンダヘッドの下側に確実にアースさせます。エンジンスイッチをONにして始動グリップを引いて火花が飛ぶことを確認してください。 ・火花がでないときは、新しいプラグと交換してください。 ・プラグを交換してもなお火花がでない場合は点火系統の故障です。
		⚠ 警告 この点検をする前に、点火プラグ穴周辺やその他のところにガソリンが付着していないか確認してください。ガソリンが付着していると引火する恐れがあるので蒸発するのを待つか、または布きれなどで完全に拭き取ってから行ってください。
	3. 圧縮の異常	3. リコイルスタータの始動ノブをゆっくり引いて確認します。圧縮の少ない時は点火プラグの締め付けが確実か確かめ、ゆるんでいたら増締めしてください。
	4. 燃料の問題	4. 燃料が燃焼室に吸い込まれていますか。 ・燃料コックは開になっていますか。 ・チョークレバーを閉じ、5～6回始動ノブを引いてから点火プラグを外してください。プラグの先端がぬれていれば燃料の吸い込みは良好です。 ・燃料が吸い込まれていない場合は、燃料がどこで止まっているか点検（気化器入口等）してください。 ・燃料が吸い込まれていて始動しない場合は、新しい燃料と交換してみてください。

表7：トラブルシューティング

トラブルシューティング

症 状	原 因	対 策
・エンジンが過負荷状態になる。	1. 送りスピードが速い。 2. ブレードが切れない。	1. ゆっくり送ってください。 2. ブレードの目立てまたは交換してください。
・エンジンがかかっているのに ブレードが回転しない。	1. Vベルトがゆるんでいる。	1. ベルトを調整し、適正な張りを与えてください。
・ブレード冷却水がでない。	1. 冷却水が入っていない。 2. パイプが詰まっている。	1. 冷却水を補給してください。 2. パイプの掃除をしてください。

表8：トラブルシューティング

修理をご依頼のときは

本機は、専用の測定器類を用いて製造、調整されています。もし正常に作動しなくなった場合には、決して自分で修理をせず、下記のところにご依頼ください。

最寄りの { レックス製品取扱店
 { レックス工業営業所（裏表紙参照）
 { レックステクノサービス部 072-963-1960 }

その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上でご不明の点がありましたら遠慮なくお問い合わせください。

▲ 注 意

- ・ 弊社が認めた人以外の人による修理で発生した人身事故、または機器の破損について責任は負いません。
- ・ 有害物質または放射線などに汚染された機器の修理は行いませんので、ご容赦ください。

メンテナンス部品の
保有期間について

本製品のメンテナンス部品の供給は製造停止後7年とします。ただし電子部品は5年とします。



レッキス工業株式会社

東京支店	〒170-0013	東京都豊島区東池袋3丁目13番8号	Tel.03(3980)5341
大阪支店	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	Tel.072(965)9811
札幌営業所	〒006-0832	札幌市手稲区曙2条4丁目3番31号	Tel.011(682)3711
仙台営業所	〒984-8651	仙台市若林区卸町3丁目1番13号	Tel.022(232)1697
東京営業所	〒170-0013	東京都豊島区東池袋3丁目13番8号	Tel.03(3980)5341
前橋営業所	〒371-0846	群馬県前橋市元総社町932番8号	Tel.027(253)8691
神奈川営業所	〒243-0804	神奈川県厚木市関口150番地の1	Tel.046(245)3981
名古屋営業所	〒454-0806	名古屋市中川区澄池町9番3号	Tel.052(351)1551
大阪営業所	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	Tel.072(965)9811
高松営業所	〒760-0072	高松市花園町3丁目7番22号	Tel.087(834)3982
広島営業所	〒734-0022	広島市南区東雲2丁目15番11号	Tel.082(284)8085
九州営業所	〒816-0082	福岡市博多区麦野3丁目18番26号	Tel.092(583)1110
本社	〒542-0086	大阪市中央区西心斎橋1丁目4番5号	
工場	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	

お客様相談窓口



0120-475-476

受付時間：月～金 9:00～12:00 13:00～17:00